

Data(2017年11月現在)

所在地: 〒590-0482 大阪府泉南郡熊取町若葉2-11-1

スタッフ: 平尾恭子(准教授), 室谷牧子(講師), 西井崇之(助教)

URL <http://www.kansai.ac.jp/course/nursing/nurs/>



関西医療大学保健看護学部保健看護学科 公衆衛生看護学

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は、1985(昭和60)年に関西鍼灸短期大学として開学、2003(平成15)年に4年制大学となり、2007(平成19)年に医療系総合大学として関西医療大学に名称変更しました。「社会に役立つ道に生きぬく奉仕の精神」を建学の理念として、現在は2学部5学科を展開しています。保健看護学部は2009(平成21)年に開設され、豊かな感性とコミュニケーション能力、看護実践力を備え“心も身体も癒せる”看護師・保健師・助産師の育成を目的としています。

Education

どのような教育をしていますか？

幅広い視野を持ち、臨床に限らず地域で活躍できる看護職の育成を目指して、3年次まではライフサイクル別・健康レベル別の保健活動、保健指導や健康教育に関する授業・演習を必修・選択科目としています。また、学生全員が地域の子育て支援事業を見学したり、地域から保健師や住民の方を講師として招くなど、学生がより地域を理解できるよう取り組んでいます。

保健師課程では選考試験を3年次3月に実施し、4年次では実習地域の地域診断、家庭訪問、健康教育、健康課題からの事業計画立案などの演習を行い、6月中旬からの保健所・市町村保健センター実習に臨みます。また、9月には、学生の関心により

学校保健、産業保健、行政の高齢者施策、地域包括支援センターに分かれ、各領域における保健師活動を学修します。

Research

どのような研究をしていますか？

教員の専門分野により、母子および高齢者を中心として研究活動を行っています。具体的には、「母子保健推進員等の非専門職との協働による子育て支援」「発達障害をもつ子どもと家族のQOL」「若年性認知症の本人、家族を支援するデータベースの開発」「認知症カフェや地域で活躍する様々な専門職、サポーター、ボランティア等の2040年へ向けた協働とインフォーマルサービスの活性化」などの研究テーマに取り組んでいます。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

本学では、現場のご理解、ご協力のもと、質の高い保健師教育を産学公民が協力して行っています。学生が体験を通じて理解を深めるため、2年次から子育て支援事業やボランティア活動、認知症カフェ、徘徊模擬訓練など地域に赴き、住民や保健師、専門職と接点を持つ参加型の教育・活動の機会を数多く設けています。

また、常日頃から教員と地域の方との顔の見える良好な協力関係を構築し、介護保険審査会や委員会に携わり、各行事への協力や研修会講師などを担っています。

ひとこと

看護師になりたいという夢を抱き入学する学生が多い中、できるだけ多くの学生に保健師の仕事の魅力を感じてもらい、保健師になりたいと思ってもらえるよう、教員一同、試行錯誤しながら教育活動に携わっています。学生、教員ともども地域の皆さまからご指導・ご支援いただきながら一步一步前進していきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

……平尾

あなたの研究室を紹介してください! 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介ください。

応募方法 ●電話、FAX、E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp